

授業科目名	建学の精神				科目コード	E1001	
担当者	古澤 敏昭 / 和田 宗汎 / 近藤 貞子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) [古澤 敏昭(8回)] 「心技一体」とは、知識及び技術・技能は勿論、精神的にも豊かで健全なる身体を備え、心・技・体が一体となって成長することにより、三位渾然とした幅広い知識と能力、博愛精神・人間愛に満ちた慈愛を持ち、協力し創造する喜びと感動を求めて努力を惜しまない人材となりうること学ぶ。 [和田 宗汎(4回)〈茶道(さどう)〉] 誰でも持っている優しい心づかい、感動する心、そうした心をより豊かに育み、人間としての感性を大切に自分を高めていくことを目的として、広島で四百年近くその道統が守り伝えられている上田宗箇流茶道を通じて、茶の湯の心の在り方、その作法を学ぶ。 [近藤 貞子(3回)〈華道〉] 伝統文化として代々受け継がれてきた華道を通して、自然の中で育まれている植物を観察し出生を知り、歴代宗匠の教の中から和の精神を学ぶ。							
(到達目標)より良い技術とは技術力のみではなく、それをを用いる人とその健康な体が調和されて社会にとって貢献しうる技術となることを体系的に理解し、説明することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
各教員によって授業形態が異なり、「茶道」および「華道」については少人数での実施が望ましいため、クラス編成をした上での授業となります。詳細は別途指示します。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	本質のとらえ方；・本質のとらえ方の体験学習・考え方のポイント(本質とは／中心とは／最重点とは)					古澤 敏昭	
2	問題点の発見と手法；・各種の手法と考え方					古澤 敏昭	
3	問題点のとらえ方；・現状分析　・あるべき姿(仮説の設定)					古澤 敏昭	
4	・問題点の指摘(あるべき姿と現状分析によるギャップ)					古澤 敏昭	
5	・改善方法により「ムダ・ムリ・ムラ」を意識する					古澤 敏昭	
6	問題を改善するのは人である；・精神状態、考え方・生産性とは(精神状態／ヨーロッパ生産性機構)					古澤 敏昭	
7	人間は考え方により行動がある；・人間性とは／社会貢献とは／創造とは／豊かな心とは／幸とは					古澤 敏昭	
8	人間関係／コミュニケーション；・報告、連絡、相談(ホウ、レン、ソウ)・調和、啓発、創造・組織とは					古澤 敏昭	
9	いけ花の成立					近藤 貞子	
10	華道が伝統文化(生活文化)として受継いできたもの					近藤 貞子	
11	現代の生活環境といけ花					近藤 貞子	
12	はじめに 茶道について 茶の湯の心 人への思いやり もてなしの心と工夫・知恵 お茶の効用					和田 宗汎	
13	茶道とのふれあい 茶室での立ち居振る舞い 基本姿勢 あいさつ 客の心構え・作法 もてなす側の心配り					和田 宗汎	
14	席入り 客作法 お茶を点てる 点て出し作法 お菓子・お茶をいただく					和田 宗汎	
15	まとめ お茶会を開く お茶会に参加する					和田 宗汎	
成績評価方法							
レポート50% 小テスト50% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
【和田・高宮】希望者には和風堂の見学をお勧めします(要予約)。※授業(茶道)の際には必ず白のソックスを持参する事。 【近藤】植物をよく観察すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	ヒロシマのこころ				科目コード	E1002	
担当者	古澤 敏昭 ほか子ども教育学科専任教員				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 平和とは何か、現在の国際社会において平和の大切さ、難しさを学び、一人一人が何をしなければならないかを考え、平和な心と豊かな人間性の大切さを学修する。真の恒久平和は、武力ではなく平和的手段によって、日常生活での地道な実践の積み重ねから実現できるもの。「平和をつくる」ことの意義と具体的方法論について核被爆の実相と「ヒロシマのこころ」に照らしながら考察する。							
(到達目標) ①「原爆被災の実相」(物理・医学・人道的)の正確な理解 ②「ヒロシマのこころ」(被爆者の心情・核廃絶への決意)の継承と実践 ③「平和を創る」という意識の向上と日常生活での実践、並びに「建学の精神」の体現							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業の妨げになるので私語は禁止。配布のレジメと資料を中心に講義を進める。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	※講義内容、成績評価方法等については、ガイダンス時に別途資料を配布します。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法							
※ガイダンス時に説明します。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	法と人権(憲法を含む)				科目コード	E12105	
担当者	手塚 貴大				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) この授業はいわゆる憲法の基本的事項を中心に勉強します。憲法で保障されている基本的人権の内容・性質、わが国の統治機構の仕組み等について講義します。							
(到達目標) 基本的人権、統治機構に関する重要な事項について理解していただきます。医療、幼児・初等教育にたずさわる者として、必要な法律知識を得る上で、前提となるべき法的素養を身に着けることが目標です。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
この授業においては、期末テストを中心に評価しますが、出席も重要です。概ね正当な理由なく5回欠席した場合には単位認定はいたしません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	イントロダクション、法的思考、憲法の意義						
2	立憲主義						
3	憲法史						
4	国民主権						
5	平和主義						
6	基本的人権総論						
7	精神的自由権①						
8	精神的自由権②						
9	経済的自由権						
10	人身の自由、社会権						
11	国会						
12	内閣						
13	裁判所						
14	財政・地方自治						
15	憲法保障						
成績評価方法							
期末試験 70%、講義への振り返りシートの提出や講義への貢献度(積極的な発言)等 30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	憲法	芦部信喜	岩波書店				
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教科書の熟読、講義への出席、講義ノートの作成が深い理解へとつながります。なお、シラバスどおりに進まない可能性もありますが、その際にはご了承ください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
必要がありましたら、授業の終了後に質問・相談等をしてください。							

授業科目名	コミュニケーション技法(複数教員担当制)				科目コード	E1003	
担当者	古澤 敏昭 ほか子ども教育学科専任教員				履修区分	必修	
開講年次	1・2年	開講期	通年	実施日	5/28(日)~30(火)	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 「心技一体」という建学の精神に則り、学部・学科の教育目標・教育内容について理解する。一人の人間としての豊かな人生を送るために、日本人としての基本的な生活習慣や幅広い人間関係を形成することを目的とし、3日間の合宿による授業を通して、共同生活に適応し、友情や人間関係を深め、自己表現などコミュニケーション能力の基礎を身につけ、本学学生としての自覚と責任を持ち、学生相互及び学生と教員間での豊かな人間関係を形成する。							
(到達目標) ①大学生としてのモラルの向上や自己実現を図るための学習姿勢を身につけることができる。 ②ディスカッション等において、積極的にわかりやすく意見を述べるができる。 ③グループメンバーの意見を尊重し、円滑なチームワークづくりに貢献できる。 ④本授業での学びを考察し、他者に意見を論理的に述べるができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど) ・年1回の集中講義(宿泊研修による授業)になります。「当日欠席＝単位不認定」になりますので注意して下さい。 ・本学において事前にガイダンスを行います。必ず出席して下さい。 ・集団研修において、個人の自己中心的な行動は同じグループメンバーや全体への迷惑になります。 ・研修施設では他団体の方も宿泊しています。他団体の方へ迷惑となるような行為は慎んで下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	※講義内容、成績評価方法等については、ガイダンス時に別途資料を配布します。						
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
成績評価方法 ※ガイダンス時に説明します。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
特になし							
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
特になし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど) ※ガイダンス時に説明します。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。 ※ガイダンス時に説明します。							

授業科目名	学びのベーシック (1)				科目コード	E1004	
担当者	深澤 悦子・森下 真実				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 大学生としての自覚や倫理観を理解するとともに、学士(教育学)を修得するための学習方法を学ぶ。また、実際に保育園、幼稚園、小学校を訪問し、それぞれの職を観察・体験し、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を目指す学生としてのよりよい大学生活を創造する基礎を養う。							
(到達目標) 1 授業のモラルや聴講の意義と方法、学習方法を習得する。 2 保育園、幼稚園、小学校における職務を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
生涯にわたって学習していくことの大切さを感じ得る資質の形成を図ること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	これまでの自分を振り返る						
2	大学生活の目的(授業のモラルを含む)						
3	聴講の意義と方法(板書、資料の扱い方、講義ノートについて)						
4	本の読み方と図書館指導						
5	レポートとは						
6	実習について①(保幼小の実習)						
7	実習について②(フィールド体験にあたっての心構え、観察の方法)						
8	保育士の実際						
9	幼稚園教諭の実際						
10	小学校教諭の実際						
11	保育職、教職の実際						
12	フィールドの振り返り						
13	プレゼンテーションの方法						
14	保幼小に関する交流・発表						
15	まとめ						
成績評価方法							
レポート60% 授業の提出物40 % ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
使用テキストは、ありません。適宜資料を配布しますので、ファイリングすること。 身近な子どもの姿をとらえ、子ども理解をするとともに、将来の教職、保育職について考察すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	学びのベーシック(2)				科目コード	E1005	
担当者	深澤 悦子・森下 真実				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 大学生としての自覚や倫理観を理解するとともに、学士(教育学)を修得するための学習方法を学ぶ。また、実際に保育園、幼稚園、小学校を訪問し、それぞれの職を観察・体験し、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を目指す学生としてのよりよい大学生活を創造する基礎を養う。							
(到達目標) 1 学習方法および研究方法の基礎を習得する。 2 保育園、幼稚園、小学校における職務を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
生涯にわたって学習していくことの大切さを感じ得る資質の形成を図ること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	言語活動の実践						
2	保育所の実践を理解する						
3	保育士の仕事を理解する						
4	幼稚園の実践を理解する						
5	幼稚園の仕事を理解する						
6	小学校の実践を理解する						
7	小学校の仕事を理解する						
8	子どもと「向かい合う」ということ						
9	保護者と「向かい合う」ということ						
10	Book Working①(保育・教育に関するキーワードについての考察)						
11	Book Working②(本の選択)						
12	Book Working③(グループによる作成)						
13	Book Working④(グループ討議)						
14	Book Working⑤(発表)						
15	まとめ						
成績評価方法							
レポート60% 授業の提出物40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
使用テキストは、ありません。適宜資料を配布しますので、ファイリングすること。 身近な子どもの姿をとらえ、子ども理解をするとともに、将来の教職、保育職について考察すること。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							



授業科目名	ビブリオバトル入門				科目コード	E1006	
担当者	片山 智恵美				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 本講義では、ビブリオバトルという書評ゲームを通して多様な本と出会い、教養を深め、様々な学問分野へ関心を広げる機会とします。また、授業内で実際にビブリオバトルを行い、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を磨き、自分の言葉で表現する力を培います。この他、本の探索を通して、図書館の活用方法やレポート作成等で必要となる情報リテラシー能力のアップ等、学生生活に必要なスキルを身につける事を目指します。これらのプロセスを踏むことで、学生に求められる「言語技術」「読解力」「表現力」を養います。							
(到達目標) 1. 本の探索や、他の受講生が紹介する書籍に触れることで、様々な分野に対しての関心を育み、読書の幅を広げる。 2. 図書館の活用方法や、様々な情報の収集・評価・活用といった情報リテラシー能力を身につける。 3. 本の紹介と他の受講者との意見交換を通して、コミュニケーション能力を磨き、自分の言葉で表現する力を身につける。 4. 実際にビブリオバトルを企画・実施する事を通して、企画力や協調性を身につける。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中は携帯電話やスマートフォン等を見ない・使用しないこと。ただし、電子書籍を紹介する場合を除く。 2. 日常的に月1冊以上は本を読むようにすること。読書対象は小説等のジャンルは問わないが漫画は控えること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス(ビブリオバトルの紹介・授業の進め方について)						
2	本の探索方法(図書館実習)						
3	ビブリオバトルをやってみよう1(自己紹介)						
4	読書とコミュニケーション(図書館実習)						
5	ビブリオバトルをやってみよう2(自由に)						
6	テーマを決めてビブリオバトル1						
7	テーマを決めてビブリオバトル2						
8	本の読み方楽しみ方(文脈を理解する力を身につける)						
9	読書会をしてみよう(他者の意見を聞く力を身につける)						
10	様々なビブリオバトル(子どもから大人まで、家庭・地域・学校現場等)						
11	ビブリオバトルを企画しよう1						
12	ビブリオバトルを企画しよう2						
13	ビブリオバトルを企画しよう3						
14	ビブリオバトル開催						
15	ビブリオバトルを開催しての反省会・意見交換						
成績評価方法							
授業内ワークシート 40%、受講生間での意見交換や、ビブリオバトルの企画・実施への貢献等 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	ビブリオバトル入門	吉野英知／ほか監修	情報科学技術協会	9784889510492			
	ビブリオバトルを楽しもう	谷口忠大／監修	さ・え・ら書房	9784378022260			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
・ ビブリオバトルで紹介する本は、アカデミックな本でなくても構いません。幅広いジャンルに目を向けてください。 ・ ビブリオバトルで紹介する本を事前に読み、紹介の仕方について事前に考えて来るようにしてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
ガイダンスの時にお伝えします。							

授業科目名	生命倫理学				科目コード	E1007	
担当者	海谷 則之				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 「生命倫理と幸せのための教育」というテーマで授業をすすめたい。科学技術や生命科学の急速な進歩は人類に物質的豊かさや便利さをもたらしている反面、環境破壊や地球温暖化、臓器移植、生命の選択と操作、尊厳死、社会格差、人間関係の希薄化など、新たな問題を生み出している。宗教や文化のちがいはあるが、生命に関わる研究と開発は無制限に行われてよいものではなく、つねに人権や生命倫理の問題とふかく関わっており、しかも世界的視野に立った生命倫理のあり方が求められている。講義では、ビデオを見てもらいながら、具体的にこれらの問題について考えていきたい。							
(到達目標) 科学技術の競争と経済優先の現代社会では、効率性や功利性、便利さばかりが求められている。個々の人権(自己決定権)と生命は尊重されなければならないが、自殺や孤独死、いじめ、虐待などの現実を見ると、同時に相手に対する思いやりや温もりのある人間関係(絆)も構築されなければならない。この授業を通して、生きる意味とは何か、真によい生活(good life)のための教育はどうあるべきか、また科学技術はどのように人類の福祉に貢献すべきかなどについて理解を深めてもらいたい。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語や携帯電話の使用、飲食は厳禁。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	伝統的倫理学と生命倫理学						
2	人間とは何か、人格とは何か…多重人格						
3	ハンセン病と人権						
4	生命への畏敬とは何か…ゲーテと龍樹						
5	戦争といのち…七三一部隊の人体実験						
6	医療事故の背後にあるもの…医の倫理						
7	看護と救急医療のあり方…ケアの本質						
8	犯罪者と償い…島秋人						
9	企業の倫理…水俣病						
10	いのちの輝き…障害者の生きざまに学ぶ						
11	脳死と臓器移植						
12	体外受精と生殖ビジネス						
13	安楽死と尊厳死…依頼された死						
14	正岡子規の死生観						
15	生きる意味と幸せのための教育						
成績評価方法							
レポート60% 講義への振り返りシートの提出や講義への貢献度(積極的な発言)40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	はじめて学ぶ生命倫理	小林亜津子	ちくまプリマー新書	978-4-480-68868-2			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	いのちの華を咲かせて	海谷則之	探究社	978-4-88483-869-0			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
この授業に関連のありそうな新聞記事やテレビ、ニュース、雑誌などに触れた時は、ちょっとその内容をメモしておく。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等は授業の後で受けつけます。							



授業科目名	心理学				科目コード	E12106	
担当者	三宅 舞				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) さまざまな領域で用いられている心理学を理解する。身近な事象を例に出しながら、また心理検査やワークも取り入れながら学ぶ。							
(到達目標) 心理学とは何かを学ぶ。 自己理解、他者理解を習得する							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中の私語は禁止します 携帯電話の使用は禁止します							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	感覚と視覚(1)						
3	感覚と知覚(2)						
4	学習と記憶(1)						
5	学習と記憶(2)						
6	学習と記憶(3)						
7	学習と記憶(4)						
8	意識・思考・言語						
9	動機付けと情動						
10	発達(1)						
11	発達(2)						
12	性格(1)						
13	性格(1)						
14	対人関係(1)						
15	対人関係(2)						
成績評価方法							
期末試験 70%、授業内ワーク・振り返りシート 30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
心理学第2版 心のはたらきを知る		梅本堯夫 他		サイエンス社			
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
教科書に沿って授業を進めます。わからないことがあれば、自ら調べたり、質問に来てください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
振り返りシートで質問、もしくは授業後に直接質問に来てください							

授業科目名	人体のしくみとケア論				科目コード	E1008	
担当者	深掘 美紀子				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 人間のからだのしくみを、活動する・呼吸する・食べるなどの生活との関連において理解し、ケアの対象者の全体像を把握するための視点をもつことを目的とする。							
(到達目標) ・人体のしくみについて、生活との関連において理解する。 ・健康レベルの変化によって日常生活でみられる代表的な症状や徴候について理解する。 ・自分や身近な人の健康に関心を持つことができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業では、テキストと資料を使用します。「私語・携帯電話の使用」は禁止します。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	運動器①						
3	運動器②						
4	脳・神経系・感覚器①						
5	脳・神経系・感覚器②						
6	呼吸器						
7	循環器①						
8	循環器②						
9	血液						
10	腎・泌尿器						
11	消化器①						
12	消化器②						
13	消化器③						
14	内分泌・生殖器						
15	まとめ						
成績評価方法							
期末試験 60% レポート 10% 授業内ワークシート 30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
人体のしくみと病気がわかる事典		奈良信雄		西東社		978-4-7916-1948-1	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
授業後にテキストや資料で復習し、理解を確認して下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
オリエンテーション時に説明します。							

授業科目名	経済学と医療				科目コード	E1009	
担当者	鈴木 誠志				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 我が国の医療制度について、経済学的な視点から概観する。医療サービスは、不確実性、外部性、情報の非対称等の特徴をもつため、市場メカニズムによる資源配分が不適切であると考えられている。そのため各国において政府による強い規制下におかれている。そこで、医療サービスは、どのような規制や制度が必要とされており、なぜ各国において医療制度に違いがあるか等の問題について経済学の視点から見ていく。							
(到達目標) 医療に関する問題(例えば老人医療費急増の問題)を経済学の視点で捉え、考えることができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業期間中に5回程度、小テストの実施やレポートを提出してもらいます。また、学期末に期末試験を実施します。評価は、これらを総合して行います。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	医療経済学とは何か						
2	市場取引の働きについて(1)-消費者均衡の理論-						
3	市場取引の働きについて(2)-生産者均衡の理論-						
4	市場均衡の理論						
5	経済厚生-消費者余剰と生産者余剰-						
6	不完全競争市場						
7	情報の非対称性						
8	日本の医療費						
9	日本の医療制度(1)-医療制度の歴史の変遷-						
10	日本の医療制度(2)-医療制度の国際比較-						
11	医療サービスの需要						
12	医療サービスの供給						
13	医療サービス市場						
14	診療報酬と薬価制度						
15	まとめ						
成績評価方法							
レポート60% 授業の提出物40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリント等を配布します。							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
特になし							
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義では、丁寧な解説を心がけて、(多めに)板書しながら授業を進めていきます。板書したことをしっかりとノートにとり、復習することで、学んだ知識を理解し、身に付けることができます。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
鈴木 誠志 E-mail アドレス: jim2@hcu.ac.jp							

授業科目名	社会と平和				科目コード	E12108	
担当者	山代 宏道				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) グローバル化が進む現代世界では、仕事をしたり留学したり、自分のキャリアアップや安全を目指して多くの人々が地球上を移動します。多くの人々は民主的な市民社会で生活していますが、必ずしもすべてが平和的であるとは言えません。世界的な平和実現のためには、各地域や国家においてどのような市民社会や人々の行動が必要となるのか考えていきます。							
(到達目標) 移民によって成立したアメリカ社会での日系人の事例を取り上げ、日本社会と比較しながら、多民族社会の特徴を検討します。平和の実現のためには、まず、民族・人種間の和解と共生をもたらす市民社会の実現が重要であることを理解します。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
各授業前にテキストを読んでください。そのうえで授業に積極的に参加することを歓迎します。私語は他の学生が受講する障害になりますから、厳しく注意したいと思います。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	平和とは:家族、社会、地域、世界レベルで						
3	グローバル化と人の移動、異民族異文化接触						
4	アメリカへの日本人移民、移民県広島						
5	日米戦争と日系アメリカ人						
6	国家と忠誠問題						
7	日系人社会と差別、団結、名誉						
8	国籍の喪失と回復						
9	平和復興への手がかり						
10	日米和解のために:国、元兵士、国民レベル						
11	国内的和解:リドレス運動						
12	「しかたがない」から「おかげさま」へ						
13	民主主義社会実現のために						
14	多様性の中の統合						
15	まとめ:多民族・多文化共生社会と平和						
成績評価方法							
各授業内容へのコメントカード(30%)と最終レポート(70%)を総合的に評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
二世兵士激戦の記録	柳田由紀子	新潮新書	978-4-10-610479-4				
参考書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
移民大国アメリカ	西山隆行	ちくま新書	978-4-480-06899-6				
アジア系アメリカ人	村上由見子	中公新書	4-12-101368-9				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
現代の日本社会や外国の社会において起こっている事件や現象についてのニュースを新聞等で読んで下さい。特に民族的対立や共生、移民や難民の問題について考えて、授業中に発言して下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
h-yamashiro@hi2.enjoy.ne.jp							

授業科目名	国際協力論				科目コード	E1010	
担当者	戸谷 敦子				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 国際協力とは何か、講義では、その歴史、意義、構造や仕組みについて学び、国際協力に関する基礎的な知識を習得する。次に、国際社会がどのように協力を展開してきたか、また、日本がどのように国際社会に貢献してきたかを、教育分野を中心に実践事例を通して学んでいく。							
(到達目標) 1. 国際協力の歴史、意義、仕組みやアクターなど基礎的知識を習得する。 2. 国際協力事業の様々な事例を研究し、国際社会の取り組み、その中での日本の貢献について理解する。 3. 国際社会で働くということを考えてみる。ボランティアとして、プロフェッショナルとして自分のできる貢献を考える。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義中の私語は慎むこと。討議では積極的に発言して下さい。 クラスメートの意見に耳を傾け、多様な価値観、個々の意見を尊重し、自分の考えを発信して下さい。 国際分野の記事・ニュースを意識して読み聞き、現在の国際情勢について知り、問題解決に考えを巡らせて下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション:国際協力とは何か						
2	日本による国際協力①:政府開発援助とその仕組み						
3	日本による国際協力②:JICA、JBIC、NGO など、それぞれの役割						
4	国際関係論から見た国際協力						
5	国際社会と国際協力①:Multilateral Cooperation						
6	国際社会と国際協力②:Bilateral Cooperation						
7	国際協力論:理論とその変遷						
8	国際協力における今日的課題:世界の平和と繁栄に向けて						
9	国際教育協力:女子教育、幼児教育						
10	国際教育協力:基礎教育①						
11	国際教育協力:基礎教育②						
12	国際教育協力:中等教育						
13	国際教育協力:職業訓練教育、高等教育						
14	その他の事例から:平和構築、緊急支援、医療など						
15	まとめ:国際協力の事例研究(プレゼンテーション)						
成績評価方法							
プレゼンテーション 30% レポート提出 25% 授業内でのワークシート 45% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
講義内でプリントを配布します。							
参考書							
書名	著者	出版社	ISBNコード				
「政府開発援助(ODA)白書:日本の国際協力」	外務省	外務省					
「日本の国際教育開発論:理論と実践」	黒田一雄・横関祐見子	有斐閣					
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
「履修における注意事項」に留意して下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後に質問等受け付けます。							

授業科目名	社会と健康				科目コード	E12214	
担当者	飯田 忠行				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 医療に従事する身として、近年の医療の動向を踏まえ、健康増進・予防医学の視点から、社会と健康の問題とその対策を学修する。さらに人間をとりまく生活習慣と健康との関連や疾病の予防・早期発見および健康の維持増進を個人の問題ではなく社会の問題として捉え、対処する方法を学修する。							
(到達目標) 1 健康についてその概念、影響する因子について自身の考えを説明できる。 2 近年の健康課題を理解し、その対処方法について説明できる。 3 地域における保健医療福祉活動と医療者の役割・機能について理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義中の私語及び携帯電話等の使用は禁止する。</li> <li>・講義内容の予習、講義中に学んだ新しい知識や疑問点は文献等により調べる。</li> <li>・配布資料等を紛失、あるいは欠席により受領できない場合は各自で友人に copy を依頼すること。</li> </ul>							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	社会と医療 導入・ガイダンス						
2	健康と公衆衛生の概念、歴史						
3	疾病予防と健康管理						
4	環境と健康(1)(生態系と環境、環境破壊)						
5	環境と健康(2)(環境汚染、環境衛生)						
6	健康、疾病、行動にかかわる統計(1)(保健統計)						
7	健康、疾病、行動にかかわる統計(2)(人口動態統計、人口動態統計)						
8	生活習慣と健康(1)(食生活と栄養、身体活動・運動)						
9	生活習慣と健康(2)(睡眠・休養・ストレス、喫煙、飲酒)						
10	生活習慣と健康(3)(喫煙、飲酒)						
11	地域課題における生活習慣と健康の対策(グループワーク)						
12	主要生活習慣病の疫学と予防対策(1)(悪性新生物)						
13	主要生活習慣病の疫学と予防対策(2)(循環器疾患)						
14	主要生活習慣病の疫学と予防対策(3)(骨粗鬆症)						
15	地域課題における主要生活習慣病の予防対策(グループワーク)						
成績評価方法							
<p>期末試験 70% レポート 20% 講義への参加度 10%(グループワークの参加発表状況等を勘案)</p> <p>ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。</p>							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	国民衛生の動向		厚生労働統計協会				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
新聞等ニュースで医療に関連した情報に留意し、問題意識の涵養、問題解決意識を養うこと							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
可能な限りいつでも対応するので、メールで連絡してください。							
飯田 忠行(県立広島大学保健福祉学部):iida@pu-hiroshima.ac.jp							



授業科目名	比較文化論				科目コード	E1011	
担当者	戸谷 敦子				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 本講義は、異文化理解、多文化共生の観点から学習を進めます。グローバル化の進展により、人やものの国境を越えた交流や流通が増え、それにともない文化の違いが際立つ事象も増えています。国際性は海外に赴く人のみならず、「内なる国際化」として国内の職場や地域でも求められる資質であり、外国人児童数の増加する学校現場も例外ではありません。異文化を理解し、自文化を伝え、共生するためにはどのような知識、意識、行動が必要なのかを考え、学んでいきます。							
(到達目標) 1. 異文化理解、多文化共生に関する理論的枠組みを把握する。 2. 異文化理解、多文化共生に関わる様々な事例を学習し、国際的な視野と認識を深める。異文化環境、多文化環境における他者理解や自己表現の困難さ、協働と共生の方策についての知見を学び考える。 3. 紛争予防や平和構築の理論を援用し、平和的な共生のために必要な知・情・動とは何なのかについて考える。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
異文化体験の有無、文化の捉え方など、講義で隣に座る学生同士もまた「異文化」的要素をもっているのではないのでしょうか。講義を「豊かに」するために、お互いの意見を出し合い、講義に積極的に参加して下さい。但し、私語は慎むこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	異文化理解とは何か						
2	文化とは何か①氷山モデルを使ったグループ討議						
3	文化とは何か②方言モデルを使ったグループ討議						
4	グローバル化と日本人Ⅰ：マジョリティとして						
5	グローバル化と日本人Ⅱ：マイノリティとして						
6	国内の異文化理解：異文化環境で生きるとは						
7	国際の異文化理解：多文化環境における相互理解とは						
8	異文化との対話：「混成文化」とは						
9	異文化コミュニケーション：異文化感受性発達モデル、コミュニケーションの3段階						
10	異文化の警告：ステレオタイプの危険性、文明の衝突論						
11	差別を考える：カナダ放送協会「特別授業 差別を知る ある小学校の試み」視聴						
12	紛争予防を考える：「沈黙を破る」視聴						
13	平和を創る発想術～ガルツング平和理論						
14	異文化理解、多文化共生に関する文献研究						
15	まとめ：プレゼンテーション						
成績評価方法							
プレゼンテーション（30％） レポート提出（25％） 授業内でのワークシート（45％） ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	異文化理解	青木 保	岩波新書	4-00-430740-6			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日々の生活を異文化理解や多文化共生の視点で見直して下さい。講義の期間中は異文化理解に関わる新聞記事やニュースを意識的に読み聞き、自分の意見や疑問点等考えをめぐらすことを習慣にして下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後に質問等受け付けます。							

授業科目名	メディアと人間文化				科目コード	E1012	
担当者	瀧口 美絵				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 授業では、新聞・広告・動画・静止画などを取り上げ、実際にメディアがどのように用いられているのか、どのような現実がそこには生み出されているのかを読みとるとともに、様々なメディアを用いて表現する活動を行う。							
(到達目標) 私たちは現在、様々なメディアに触れ、また、活用しながら生活している。このようなメディア環境は、どのように発生し、どのように展開してきたのだろうか。本講義では、様々なメディアを取り上げながら、メディアをとりまく人間文化の有様について学ぶことを目的としている。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義資料を整理するためのファイルを用意してください。配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、他の学生からコピー等をしてもらってください							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス、メディアをめぐる今日の状況						
2	メディア・リテラシーについて						
3	文字メディアをめぐる文化						
4	ラジオというメディアコミュニティ						
5	静止画の分析						
6	動画をめぐる人間文化:テレビ・映画						
7	広告の分析 1 新聞・雑誌						
8	広告の分析 2CM						
9	広告制作						
10	マスコミュニケーションの理論と展開 1						
11	マスコミュニケーションの理論と展開 2						
12	電子メディアネットワークがもたらす市民社会						
13	新聞メディアのリテラシー						
14	新聞作成 1						
15	新聞作成 2						
成績評価方法							
講義ごとに提出するコメント・カードの内容 10%、提出物 30%、期末試験 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	『メディア文化論』	吉見俊哉	有斐閣アルマ	978-4-641-12487-5			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義では、適宜資料を配布します。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	人間と環境				科目コード	E1013	
担当者	渡邊 真彦				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 産業革命以来我々の生活は便利かつ豊かになった一方、環境への影響は長年軽視されてきた。近年生じている大気汚染、水質汚染、騒音、振動、植物など生物の分布、景観、有害化学物質、ハイテク汚染などの環境諸問題は人類が得た快適さと引き替えに生じた影響の具体例といえよう。 この講義では過去から現在に至る種々の事例から、人がどのように環境に向き合ってきたのかを述べ、今後の展望について考察する。							
(到達目標) この講義では生活環境、地域環境、地球環境等様々な環境にみられる現象について述べ、各種環境問題に対する認識と考察を深める事を目的とする。また、未来を担う知性あふれる社会人にとって必要とされる人間と環境の関わり合いについて理解することも目的とする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	環境とは何か						
2	人類の発展と環境						
3	環境問題の歴史						
4	公害とは						
5	水圏と大気圏の環境と生物圏との関係						
6	大気汚染の事例とその対策						
7	水質汚濁、土壌汚染とその対策						
8	震動、騒音および電磁波による影響と対策						
9	枯渇性資源と再生可能エネルギー						
10	廃棄物の処分とリサイクル						
11	環境の経済的価値						
12	環境倫理						
13	環境関連の国内法律と国際条約						
14	環境アセスメントと環境管理システム						
15	未来の環境と人の心						
成績評価方法							
授業への参加:20%、レポート:50%、ディスカッション:30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリント等を配布する							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
地球・環境・人間		石弘之		岩波書店		978-4000074643	
気象と地球の環境科学		二宮洸三		オーム社		978-4274201851	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
集中講義ですので予習や復習に十分な時間がとれませんので、受講を希望する学生は普段から新聞記事やインターネット等を利用して環境関連の予備知識を蓄えておいて下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
質問等は講義時間内や講義間の休み時間を利用して受け付けます。							

授業科目名	英語 I A(読解中心)				科目コード	E1014a	
担当者	西本 純子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) キャンパスライフを中心に、基本的な自己表現方法を増やしていきます。また、日常生活において必要な情報を英語で理解することで、読解力を高めます。こうして習得した情報が、会話において自己の意見を述べる基礎となり、発言力を高めます。スピーキングとリーディングを中心に、総合的な英語による発信力を養っていきましょう。							
(到達目標) 各ユニットのトピックを通して、リスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの4つの基礎力を強化していきます。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
聞きとれない単語やフレーズは、繰り返し聞いてください。その際、ネイティブが話すリズムを真似してください。いくら単語ごとの発音が正確でも、文全体のリズムが違えば、ネイティブには通じませんし、自分自身もネイティブの英語が聞き取れません。しっかりネイティブの話すリズムとイントネーションに耳を傾けてください。 授業中、携帯電話等を使った場合は、先生の一時預かりとなります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	Unit 1	I Commute by Train					
2	Unit 1	現在時制・過去時制					
3	Unit 2	What Are You Going to Do This Weekend?					
4	Unit 2	未来表現					
5	Unit 3	Have You Ever Volunteered?					
6	Unit 3	現在完了形					
7	Unit 4	Is There a Bank Near Here?					
8	Unit 4	There is/are 構文					
9	Unit 5	Could I Join Your Class?					
10	Unit 5	助動詞 1					
11	Unit 6	You Should Apply for the Program					
12	Unit 6	助動詞 2					
13	Unit 7	What Do the Plans Include?					
14	Unit 7	疑問詞					
15	会話の注意点の確認、文法の総復習						
成績評価方法							
小テスト 30%、及び学期末試験 70%で、総合的に判断します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Say it now! 話す・伝える英文法		高田智子		金星堂		978-4-7647-4038-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
総合英語 Forest		石黒昭博		桐原書店		978-4-342-01045-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各ユニットの単語をチェックして、内容の中で、不明な点をメモしておき、授業中に確認してください。もっと解説が必要な場合は、積極的に質問してください。皆さんの質問が、理解を深める良い機会だと考えてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業終了後に、対応します。							

授業科目名	英語 I A(読解中心)				科目コード	E1014b	
担当者	豊島 桂子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 保育科学生のために編集された教科書を用い、保育の現場で必要な英語表現を学習する。							
2. 映画を鑑賞し、こども教育の側面からそのメッセージを考察すると同時に、生の英語に触れる。							
(到達目標)							
1. 新学期の登園、家族との連絡、遊具の名称、着替え、病気等の園内生活に必要な語彙や表現を理解し、身に付ける。							
2. 映画を通じて、こども教育の立場から、様々な問題や弱みを持つ人々への理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は、減点になります。							
2. 授業中は、スマホ等の携帯機器の私的 사용을禁止します。授業目的の使用は許可を得てください。度重なる注意でも守れなかった場合は、その日の授業を欠席とし、課題等をゼロ点とします。							
3. 講師が説明中の私語、長時間居眠り等の行為もマナー違反行為として、欠席扱い、課題点を減点かゼロ点とします。							
4. 配布プリントについて、予備の配布は原則行いませんので、各自の責任において、他の学生からコピー等をもって下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	授業説明 1-1. 新学期・園の人々・園舎						
2	1-2. 新学期・園の人々・園舎	映画「フォレスト・ガンプ」 その1					
3	2. 登園・家族	映画「フォレスト・ガンプ」 その2					
4	3. 室内遊び・欠席の連絡	映画「フォレスト・ガンプ」 その3					
5	復習 (1, 2, 3)	映画「フォレスト・ガンプ」 発展 その1-3					
6	6. 昼食・献立表	映画「フォレスト・ガンプ」 その4					
7	7. 着替え・お話	映画「フォレスト・ガンプ」 その5					
8	9. 病気・身体の名称	映画「フォレスト・ガンプ」 その6					
9	復習 (6, 7, 9)	映画「フォレスト・ガンプ」 発展 その4-6					
10	10. 緊急連絡	映画「フォレスト・ガンプ」 その7					
11	11. 行事の案内表・電話連絡	映画「フォレスト・ガンプ」 その8					
12	12. 運動会・動作	映画「フォレスト・ガンプ」 その9					
13	13. 散歩・地図	映画「フォレスト・ガンプ」 その10					
14	復習 (10, 11, 12, 13)	映画「フォレスト・ガンプ」 発展 その7-10					
15	期末試験の説明と準備	映画「フォレスト・ガンプ」 その11					
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
新・保育の英語		森田和子	三修社	978-4-384-33399-2 C1082			
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 内容に不明点がある場合は、その都度他の学生や講師に質問して問題点を解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐ取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06206@nifty.ne.jp							

授業科目名	英語 I B(表現中心)				科目コード	E1015a	
担当者	西本 純子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 引き続き、英語の発信力を、各トピックを中心に高めていきます。							
(到達目標) 前期で学んだ表現方法と文法を基礎にして、自分の考えをさらに詳しく説明できるように、実践的な会話への応用力を身につけます。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
聞きとれない単語やフレーズは、繰り返し聞いてください。その際、ネイティブが話すリズムを真似してください。いくら単語ごとの発音が正確でも、文全体のリズムが違えば、ネイティブには通じませんし、自分自身もネイティブの英語が聞き取れません。しっかりネイティブの話すリズムとイントネーションに耳を傾けてください。 授業中、携帯電話等を使った場合は、先生の一時預かりとなります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	Unit 8	My New Apartment Is Safer Than My Old One					
2	Unit 8	比較級・最上級					
3	Unit 9	Typing Is Easy for Me!					
4	Unit 9	動名詞					
5	Unit 10	I Have Many Things to Learn					
6	Unit 10	不定詞					
7	Unit 11	If I Travel Abroad, I'll Take a Group Tour					
8	Unit 11	because / if 節					
9	Unit 12	Osamu Tezuka Is Admired by Many People					
10	Unit 12	受動態					
11	Unit 13	Here Is a Book Showing Various Recipes!					
12	Unit 13	過去分詞・現在分詞					
13	Unit 14	There Is a Candidate Who I Want to Support					
14	Unit 14	関係代名詞					
15	Unit 15	This Semester Finished So Fast! 頻度／様子を表す副詞					
成績評価方法							
小テスト 30%、及び学期末試験 70%で、総合的に判断します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
Say it now! 話す・伝える英文法		高田智子		金星堂		978-4-7647-4038-9	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
総合英語 Forest		石黒昭博		桐原書店		978-4-342-01045-3	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各ユニットの単語をチェックして、内容の中で、不明な点をメモしておき、授業中に確認してください。もっと解説が必要な場合は、積極的に質問してください。皆さんの質問が、理解を深める良い機会だと考えてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業終了後に、対応します。							



授業科目名	英語 I B(表現中心)				科目コード	E1015b	
担当者	豊島 桂子				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. こども教育現場でのコミュニケーションに必要な英語表現を学習し、スピーキング練習をする。							
2. 映画を鑑賞し、こども教育の側面からそのメッセージを考察すると同時に、内容理解、リスニングやスピーキングを行う。							
(到達目標)							
1. 自己紹介、送迎、欠席連絡、病気の症状、食物や衣服の名称等の保育現場で不可欠な指示や会話が英語でできる。							
2. 映画を通じて、こども教育の立場から児童の心身の発達や保育への理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は、減点になります。							
2. 授業中は、スマホ等の携帯機器の私的 사용을禁止します。授業目的の使用は許可を得てください。度重なる注意でも守れなかった場合は、その日の授業を欠席とし、課題等をゼロ点とします。							
3. 講師が説明中の私語、長時間居眠り等の行為もマナー違反行為として、欠席扱い、課題点を減点かゼロ点とします。							
4. 配布プリントについて、予備の配布は原則行いませんので、各自の責任において、他の学生からコピー等をもって下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容					担当者	
1	授業説明 1. 入園の際の自己紹介、保育時間の紹介と園舎の紹介						
2	2. 送迎の会話、人物の外見を表す						
3	3. 欠席の連絡・病気の症状を表す						
4	4. 遊びの指示、おもちゃの名称等						
5	5. 昼食、食物の名称、着替え、お昼寝、衣服の名称						
6	映画「スタンド・バイ・ミー」 その1 推測する						
7	映画「スタンド・バイ・ミー」 その2 need の使い方						
8	映画「スタンド・バイ・ミー」 その3 look の使い方						
9	映画「スタンド・バイ・ミー」 その4 願望を表す						
10	映画「スタンド・バイ・ミー」 その5 条件を表す						
11	映画「スタンド・バイ・ミー」 その6 助言、忠告の仕方						
12	映画「スタンド・バイ・ミー」 その7 経験を表す						
13	映画「スタンド・バイ・ミー」 その8 今後を語る						
14	映画「スタンド・バイ・ミー」 その9 比べる						
15	期末試験の説明と準備						
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
新・保育の英語 (I Aと同じ)		森田和子		三修社		978-4-384-33399-2 C1082	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 内容に不明点がある場合は、その都度他の学生や講師に質問して問題点を解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐ取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06206@nifty.ne.jp							

授業科目名	英語ⅡA(読解中心)				科目コード	E1016a	
担当者	西本 純子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) グローバル化という言葉がすでに日常化している現在、もはや英語の力なしには世界で活躍することはむずかしくなってきました。幸いなことに、各教科書の出版会社は年々その需要に応えるべくテキストを提供しています。実践的な場面を想定して作られた会話を通して、リスニングとスピーキングの力を養い、ネット上の約90%を占めると言われる英語の情報を把握するために、リーディングとライティングも同時に高めていきましょう。							
(到達目標) 発信力を高めるために必要な文法を確認し、会話のモデルでどのように使われているか確認しながら、会話力を高めましょう。さらに、発言力を高めるために必要な情報の収集に必要な読解力を身につけ、それをお手本にして、自分の意見を英語で書き出す練習をしましょう。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
英会話の練習は、声を出して積極的に行ってください。重要な表現は授業中に覚える意気込みで参加してください。英作文は、必ず書いてください。テキストが空白のままであるということがないようにしましょう。授業中、携帯電話等を使った場合は、先生の一時預かりとなります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	UNIT 01 「〈人〉または〈物〉は/が～する」のパターン						
2	UNIT 02 「〈人〉に〈物〉を～する」のパターン						
3	UNIT 03 人や物を説明しよう(1)						
4	UNIT 04 人や物を説明しよう(2)						
5	UNIT 05 「いつも～している」のパターンと「～した」のパターン						
6	UNIT 06 「これから～するつもりだ」のパターン						
7	UNIT 07 「今～している」のパターンと「その時～していた」のパターン						
8	UNIT 08 過去のことが現在まで影響する形						
9	UNIT 09 「話し手の気持ち」を表す表現						
10	UNIT 10 「相手の気持ち」を尋ねる表現						
11	UNIT 11 「～すること」を表す2種類の形						
12	UNIT 12 2種類の「～すること」の形を区別する方法						
13	UNIT01-04 復習問題						
14	UNIT05-08 復習問題						
15	UNIT09-12 復習問題						
成績評価方法							
小テスト30%、及び学期末試験70%で、総合的に判断します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	発信型コミュニケーション基礎英語	小山政史	松柏社	978-4-88198-725-4			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	総合英語 Forest	石黒昭博	桐原書店	978-4-342-01045-3			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各ユニットの文法事項と、リーディング用の文章の概要をつかんでおきましょう。不明な点をメモして、授業で確認してください。覚えるべき表現やリスニングを高める注意点は、必ず授業後に確認してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業終了後に、対応します。							

授業科目名	英語ⅡA(読解中心)				科目コード	E1016b	
担当者	豊島 桂子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 児童の英語教育に携わる教員を目指す学生のために編集された教科書を用い、必要な英語表現を学習する。 教科書はALT(外国語指導助手)と学級担任が、コミュニケーションを取りながら、学校生活を行うという設定である。							
2. 映画を鑑賞し、こども教育の側面からそのメッセージを考察すると同時に、生の英語に触れる。							
(到達目標)							
1. 自己紹介、学校給食、遊び等の名称、授業活動、数の計算の表現、日本文化の紹介の仕方等を理解し、身に付ける。							
2. 映画を通じて、こども教育の立場から、様々な問題や弱みを持つ人々への理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は、減点になります。							
2. 授業中は、スマホ等の携帯機器の私的 사용을禁止します。授業目的の使用は許可を得てください。度重なる注意でも守れなかった場合は、その日の授業を欠席とし、課題等をゼロ点とします。							
3. 講師が説明中の私語、長時間居眠り等の行為もマナー違反行為として、欠席扱い、課題点を減点かゼロ点とします。							
4. 配布プリントについて、予備の配布は原則行いませんので、各自の責任において、他の学生からコピー等をもらって下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	授業説明 Unit 1-1 ALTの南小学校の初訪問						
2	Unit 1-2 ALTの南小学校の初訪問	映画「クレイマー・クレイマー」 その1					
3	Unit 2 ALTとのコミュニケーション	映画「クレイマー・クレイマー」 その2					
4	Unit 3 学校給食	映画「クレイマー・クレイマー」 その3					
5	復習 (1, 2, 3)	映画「クレイマー・クレイマー」 発展 その1-3					
6	Unit 4 休み時間	映画「クレイマー・クレイマー」 その4					
7	Unit 5 最初の授業	映画「クレイマー・クレイマー」 その5					
8	Unit 6 授業スタート:数を教える1	映画「クレイマー・クレイマー」 その6					
9	復習 (4, 5, 6)	映画「クレイマー・クレイマー」 発展 その4-6					
10	Unit 8 授業を終える:振り返り	映画「クレイマー・クレイマー」 その7					
11	Unit 10 朝顔の栽培:生活科	映画「クレイマー・クレイマー」 その8					
12	Unit 11 カレーの作り方:家庭科	映画「クレイマー・クレイマー」 その9					
13	復習 (8, 10, 11)	映画「クレイマー・クレイマー」 発展 その7-9					
14	Unit 12 タウンマップ:社会科	映画「クレイマー・クレイマー」 その10					
15	期末試験の説明と準備						
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
Hello, English: English for Teachers of Children		相羽千州子、藤原真知子、Brian Byrd 他	成美堂	978-4-7919-4797-3 C1082			
参考書							
書名		著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 内容に不明点がある場合は、その都度他の学生や講師に質問して問題点を解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐ取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06206@nifty.ne.jp							

授業科目名	英語ⅡB(表現中心)				科目コード	E1017a	
担当者	西本 純子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 発信力を高めるために、接続詞や関係代名詞を使いながらも、簡潔に、また、より詳細な情報を伝えられるような表現方法を学んでいきます。							
(到達目標) 単に語彙や文法の知識を増やすのではなく、それを活かすために、積極的に応用問題に取り組んでください。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
学んだ文法や表現を使って実践力を高めるために、会話をペアで行います。またライティングの力を高めるために、短文を作る練習を怠らないでください。慣れないうちは、非常に面倒ですが、がんばりましょう。 授業中、携帯電話等を使った場合は、先生の一時預かりとなります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	UNIT 13 「～するために」と「～して」を表す形						
2	UNIT 14 「～するための」と「～するという」を表す形						
3	UNIT 15 「～される」を表す形						
4	UNIT 16 「～している」を表す形						
5	UNIT 17 「～された」を表す形						
6	UNIT 18 2つの文を1つにする方法(1)						
7	UNIT 19 2つの文を1つにする方法(2)						
8	UNIT 20 2つのものをつないでみよう						
9	UNIT 21 疑問文を作る方法と疑問文を別の文の一部にする方法						
10	UNIT 22 「現実離れたこと」を表す						
11	UNIT 23 「2つのもの」を比べる表現						
12	UNIT 24 「順位」を表す表現						
13	UNIT 13-16 復習問題						
14	UNIT 17-20 復習問題						
15	UNIT 21-24 復習問題						
成績評価方法							
小テスト30%、及び学期末試験70%で、総合的に判断します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	発信型コミュニケーション基礎英語	小山政史	松柏社	978-4-88198-725-4			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	総合英語 Forest	石黒昭博	桐原書店	978-4-342-01045-3			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
各ユニットの文法事項と、リーディング用の文章の概要をつかんでおきましょう。不明な点をメモして、授業で確認してください。 覚えるべき表現やリスニングを高める注意点は、必ず授業後に確認してください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業終了後に、対応します。							

授業科目名	英語ⅡB(表現中心)				科目コード	E1017b	
担当者	豊島 桂子				履修区分	必修	
開講年次	2年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要)							
1. 小学校で子供に英語を教えるために必要な英語を学習し、スピーキング練習をする。							
2. 映画を鑑賞し、こども教育の側面からそのメッセージを考察すると同時に、内容理解、リスニングやスピーキングを行う。							
(到達目標)							
1. 授業の始め方、終わり方、必要な指示の出し方など授業中で不可欠な指示や会話が英語でできる。							
2. 映画を通じて、こども教育の立場からいじめの問題や心身の発達への理解を深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 授業中に指示された課題に集中して取り組んでください。期限を過ぎた課題提出は、減点になります。							
2. 授業中は、スマホ等の携帯機器の私的 사용을禁止します。授業目的の使用は許可を得てください。度重なる注意でも守れなかった場合は、その日の授業を欠席とし、課題等をゼロ点とします。							
3. 講師が説明中の私語、長時間居眠り等の行為もマナー違反行為として、欠席扱い、課題点を減点かゼロ点とします。							
4. 配布プリントについて、予備の配布は原則行いませんので、各自の責任において、他の学生からコピー等をもって下さい。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	授業説明 1. ALTとの自己紹介						
2	2. 学校説明、授業計画、授業の英語の指示						
3	3. 児童への質問、休み時間、ゲーム活動の指示						
4	4. 給食の指示、食事の好み、カレーの作り方						
5	5. タウンマップ作りの指示、場所の名前、日本文化の説明						
6	映画「Back to the Future」その1 強い警告を表す						
7	映画「Back to the Future」その2 seem 推測する						
8	映画「Back to the Future」その3 希望を話す						
9	映画「Back to the Future」その4 仮想する						
10	映画「Back to the Future」その5 経験を語る						
11	映画「Back to the Future」その6 比べて好みを言う						
12	映画「Back to the Future」その7 実現不可能な願望を表す						
13	映画「Back to the Future」その8 命令する						
14	映画「Back to the Future」その9 気になる事を話す						
15	期末試験の説明と準備映画 「Back to the Future」その10						
成績評価方法							
期末試験 50% 課題提出 30% 授業内ワークシート 20%							
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	Hello, English: English for Teachers of Children (ⅡAと同じ)	相羽千州子、藤原真知子、Brian Byrd 他	成美堂	978-4-7919-4797-3 C1082			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1. 内容に不明点がある場合は、その都度他の学生や講師に質問して問題点を解消するようにしてください。							
2. 配布プリントはファイルして、試験説明の際、必要な情報がすぐ取り出せるように準備しておいてください。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
以下のメールアドレスに連絡してください。 VEP06206@nifty.ne.jp							



授業科目名	英語コミュニケーション				科目コード	E1018	
担当者	西本 純子				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) ネイティブが日常生活で話している英語は、基本単語中心で簡潔ですが、話し手の感情がズバリわかる英語です。彼らがしゃべる英語は、皆さんがほとんど知っている単語で構成されています。基本的な表現を覚えて、様々なシチュエーションで使われる定型表現を組み合わせて、会話の幅を広げていきましょう。							
(到達目標) まずは、場面ごとに、ネイティブが使う英語を各自口頭練習をします。ただやみくもに、音読しても、時がたてば忘れてしまいます。どのような場面で、このような表現が使われるのかをイメージしながら、口頭練習しましょう。このような音読練習なしには、学んだ表現はとっさに出てきません。次に、ペアを組んで、テキストの登場人物になりきって、練習しましょう。この段階で、いつ、どのような場面で、覚えたフレーズが使われるのかを体感しましょう。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
授業中、携帯電話等を使った場合は、先生の一時預かりとなります。 必ず、口頭練習に積極的に参加してください。沈黙は、場合によっては出席と認めない場合があります。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	Unit1 Eat Out / Unit2 Transportation						
2	Unit3 College and University Life / Unit4 Fashion						
3	Unit5 Part-time Jobs / Unit6 Hair and Make-Up						
4	Unit7 Shopping / Unit8 Dating						
5	Unit9 Technology /Unit10 Health						
6	Unit11 Watching Movies /Unit12 Listening Music						
7	Unit13 Cooking /Unit14 Accommodation						
8	Unit15 Hobbies /Unit16 Travel abroad						
9	Unit17 Job Hunting (Interview) /Unit18 Problems and Solutions						
10	Unit19 Requests and Appeals /Unit20 Discussion and Presentation						
11	応用編 Unit1-Unit4						
12	応用編 Unit5-Unit8						
13	応用編 Unit9-Unit12						
14	応用編 Unit13-Unit16						
15	応用編 Unit17-Unit20						
成績評価方法							
小テスト 30%、及び学期末試験 70%で、総合的に判断します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	フレーズからはじめる英語ドリル	内田政一・高橋妙子	南雲堂	978-4-523-18520-8			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	総合英語 Forest	石黒昭博	桐原書店	978-4-342-01045-3			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
必ず学習予定のユニットを予習してきてください。語彙の確認は必須です。 復習は CD で発音とリズムを確認後、とにかく口頭練習です。半期で、テキストを少なくとも 2 回学習する予定です。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
時間を要する質問等の場合は、授業終了後、相談の上日時を決めましょう。							



授業科目名	文章表現法				科目コード	E12132	
担当者	瀧口 美絵				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 人間は言葉によって思考をおこない、言葉で心が深まり、自分の中の思いを見つめる。その言葉がつながり文章となる。ではよい文章とはどのような文章か。そのような根本的なことを常に意識しながら、よき日本語が使えるようになることを目標に、言葉とは何か日本語とは何か、その特質を発音・語彙・文法などについて英語との比較を通して学修するまた優れた日本語の文章を読み、実際に文章も書く。そのような実践的学修を通じて、言葉(日本語)に対するの自覚を持つことで、優れた文章表現を身につける。							
(到達目標) ・レポート、小論文を簡潔に、書けるようになること。 ・文章で相手に伝える力を養うことを目的に、講義・演習(実際に書かせる)により、まとめ方(文章構成:文・段落・用語・図表の活用等 文章の作法:主題を明確にする 結束性のある文章等)を学習する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
講義は演習形式のため、欠席をすると、その回の内容が身に付かないばかりか、次回からの内容が分からなくなりますので、欠席をしてはいけません。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	ガイダンス 文脈にふさわしい語句を使う						
2	正しくわかりやすい文を書く(1)組立を正しく、5W1Hを落とさないでかく						
3	事実文と意見文の理解 意見を支える事実文の作成						
4	論証的意見文の構成を考える 事実を示す・意見を述べる・意見の正しさを論証する						
5	意見文を書くー事実と意見の違いを考えて書くー						
6	意見文相互批評・訂正版作成						
7	資料分析-グラフの読み取り						
8	正しくわかりやすい文を書く(2)長い文を短く区切る						
9	正しくわかりやすい文を書く(3)問題演習						
10	意見文2を書く一文の役割を考えて書くー						
11	意見文相互評価・訂正版作成						
12	敬語を正しくつかう						
13	通信文を書く						
14	要旨を書く						
15	まとめ						
成績評価方法							
意見文(2編)30%、授業への取り組み方 20%、最終試験結果 50%、の総合成績で基準を満たしたのものについて正規の学業を収めたと判定します。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
講義で配布する資料を必ずファイルし、保管しておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
講義外の時間においては、メールにおいて対応します。							

授業科目名	中国語入門				科目コード	E12133	
担当者	范 叔如				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 中国語の発音及び基本的な文法事項を習得し、中国語の基礎学力を養成する。 初歩的な文法を詳しく説明し、テープ・ビデオの利用により、発音をマスターする。							
(到達目標) ローマ字による発音の方法やこつと簡単な会話ができるように。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
積極的に授業に参加する事、必ずテキストを持つとノートを取る事、無断に欠席しない事。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	学習の概略説明と使用テキスト・辞書の紹介。中国・中国語についての簡単な説明						
2	発音1 声調、単母音と複母音						
3	発音2 子音 ① 無気音と有気音						
4	子音 ②そり舌音						
5	発音3 鼻音を伴う母音						
6	声調の組み合わせ、変調と簡単な挨拶表現						
7	発音テスト						
8	人称代名詞、動詞述語文、形容詞述語文、副詞						
9	本文、会話と「聞く、書く、話す」						
10	指示代名詞と疑問詞疑問文						
11	反復疑問文 存在を表す“在”						
12	本文、会話と「聞く、書く、話す」						
13	映像を通して中国を知る						
14	総復習						
15	終了テスト						
成績評価方法							
発音テスト20%(テスト問題の点数で決まる)+練習問題20%(授業中の宿題の完成度)+期末60%(テスト問題の点数で決まる)ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	『友子の北京ライフ』	李志華・文南 著	白帝社	978-4-89174-905-7C3087			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	『はじめての中国語学習辞書』	相原茂編著	朝日出版社	9784255001135-C0587			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
1.テキスト中の cd を発音を聞く事。 2.本文と文法を復習する事。 3.宿題をしっかりと書く事。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
携帯電話 090-8065-4502							

授業科目名	韓国語入門				科目コード	E12134	
担当者	李 賛任				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 様々な分野において韓国に関する関心が高まり、韓国語に対する興味も多くなっている。ここで、初めて韓国語を学ぶ学生達に韓国語の文字である「ハングル」の読み・書きと、自己紹介、買い物の表現、また、病院で使われる表現等を学習させる。							
(到達目標) 韓国語の文字である「ハングル」の読み・書きと簡単なコミュニケーションができるようになる。また、授業ではDVDのような視聴覚教材を利用し、現在の韓国の文化や韓国人の考え方等を紹介し、韓国と韓国人に対する理解も深める。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
はじめて接する外国語なので毎回欠席なしできちんと出席し、学習に臨むことが望ましい。「携帯電話禁止」、「授業中の私語は禁止」							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	韓国語の概略、ハングルの構成						
2	母音文字						
3	母音・子音文字(1)						
4	母音・子音文字(2)						
5	終声子音(パッチム)						
6	発音規則及び簡単な表現						
7	挨拶表現						
8	基本文型「～は～です」、「～が～です」						
9	自己紹介の表現						
10	買い物の際に使われる表現						
11	DVDによる韓国の文化紹介						
12	映画の中での実際の簡単な日常会話						
13	注文の際に使われる表現						
14	医療に関連する表現						
15	復習						
成績評価方法							
期末試験 40%、レポート 20%、授業内の参加及び授業態度 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	『韓国語入門』	朴大王・李賛任	白帝社	ISBN978-4-86398-130-0 C3887/2400E			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	『ソウルスタイル』	朴大王	白帝社	ISBN978-4-86398-129-4 C0026/1200E			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
「毎回の授業後、学習した内容を復習し、文字と単語をしっかりと暗記する」「習った語彙を生活の中で使ってみる」「K-POPの歌を覚えて韓国語で歌ってみる」「韓国のドラマを見るとき、韓国語を意識しながら見る」							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							

授業科目名	スポーツ理論と実技				科目コード	E1019	
担当者	林 俊雄				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	30回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 人間性豊かに生きるためにスポーツは不可欠の文化として認められるようになった。生涯にわたってスポーツに親しみ、健康の保持増進と体力・運動能力の向上を図るために必要なトレーニング理論を習得したり、基本的人権の一つとしてスポーツを楽しく安全に行うことができるための組織論や社会論を習得したりする。また実技を通して健康な心身を発達させると同時に、運動学習の基礎的方法論について習得する。							
(到達目標) ①各種トレーニングの方法や原則、目的に応じた運動処方の方法について理解することができる。 ②スポーツ権を正しく行使できるための社会的諸条件について理解することができる。 ③集団的球技系スポーツ種目の技能を高めることができるとともに、技能を高めるための練習・学習方法について理解することができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど) 実技の際は必ず運動着や体育館シューズ・運動靴を着用すること。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容			回数	講義内容		
1	本授業の目的、内容、方法の概説とグルーピング			16	ゴール型球技系スポーツの実技①		
2	スポーツの歴史と文化①			17	ゴール型球技系スポーツの歴史と文化②		
3	スポーツの歴史と文化②			18	ゴール型球技系スポーツの実技②		
4	スポーツの歴史と文化③			19	ゴール型球技系スポーツの歴史と文化③		
5	健康の保持・増進と運動			20	ゴール型球技系スポーツの実技③		
6	トレーニングの基礎理論			21	ゴール型球技系スポーツの歴史と文化④		
7	ネット型球技系スポーツの歴史と文化①			22	ゴール型球技系スポーツの実技④		
8	ネット型球技系スポーツの実技①			23	ベースボール型球技系スポーツの歴史と文化①		
9	ネット型球技系スポーツの歴史と文化②			24	ベースボール型球技系スポーツの実技①		
10	ネット型球技系スポーツの実技②			25	ベースボール型球技系スポーツの歴史と文化②		
11	ネット型球技系スポーツの歴史と文化③			26	ベースボール型球技系スポーツの実技②		
12	ネット型球技系スポーツの実技③			27	ベースボール型球技系スポーツの歴史と文化②		
13	ネット型球技系スポーツの歴史と文化④			28	ベースボール型球技系スポーツの実技②		
14	ネット型球技系スポーツの実技④			29	スポーツの大衆化と高度化		
15	ゴール型球技系スポーツの歴史と文化①			30	スポーツとジェンダー		
成績評価方法 レポート 70%、毎時の振り返り及び次時への課題追求 30% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
適宜プリントを配付します。							
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど) 毎時の授業感想文を復習として課すので、配布資料と感想文はまとめてファイリングしておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。 メールか直接研究室へ訪ねてください。							

授業科目名	情報活用演習 I				科目コード	E1020	
担当者	田中 稔次朗				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 本授業では、専門分野教育への円滑な接続ができるように、基礎レベルの情報リテラシーを身につける。コンピュータ活用の前提となるコンピュータの構造・機能、インターネットの仕組みと情報社会の倫理について学び、ワープロ・表計算のオフィスソフトの活用技能を確実に習得するとともに、パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識・技能を身につける。							
(到達目標) コンピュータの基本的な機能と OS の役割を理解する。Microsoft Office の基本的スキル、文書作成や表計算がマニュアルに基づいてできる。ブラインドタッチがある程度できるようにする。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
注意力が散漫になるので、授業中はスマートフォンや i-phone は禁止。見ない・使用しない机の上に置かないこと。授業内に終わらなかった課題は、空き時間を利用して、次の授業までに済ませておくこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	高度情報化社会における情報リテラシー						
2	コンピュータの構造と機能						
3	OSとアプリケーションソフト						
4	Internet Explorer8.0とWWW						
5	インターネットの安全利用とウイルス						
6	Wordによる文書作成						
7	Wordによる罫線と表作成						
8	ワードアート・クリップアート・オブジェクト						
9	Excelによる表計算とは						
10	Excelの表計算と関数利用						
11	Excelの表計算とグラフ						
12	関数による検索・論理・統計処理						
13	Excelの便利な機能						
14	WordとExcelの活用						
15	情報活用演習 I のまとめ						
成績評価方法							
期末試験 40%、課題 60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	Office2010	実教出版編集部	実教出版株式会社	978-4-407-32095-4			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
空き時間にブラインドタッチの練習をすること。 授業時間内に終わらなかった場合は、次の授業までに終えておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールまたは電話: tanaka_hei@yahoo.co.jp または 080-5624-0712							

授業科目名	情報活用演習Ⅱ				科目コード	E1021	
担当者	田中 稔次朗				履修区分	必修	
開講年次	1年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	1
授業の概要・到達目標							
(概要) 本授業では、情報活用演習Ⅰで学んだ内容をさらに発展させ、教員の仕事を支援する道具としてコンピュータを使いこなす能力と教職に必要な情報教育に関する情報処理能力を身につけ、高度情報化社会に対応した教育を実践できる能力を学習する。							
(到達目標) オフィス系のソフトの実用的なスキル、画像の処理、プレゼンテーション資料作成等をマニュアルを見ながらできるようになること。コンピュータによる教材作成の基本技能を習得すること。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
注意力が散漫になるので、授業中は携帯電話や i-phone、スマートフォンは禁止。見ない・使用しない、机の上に置かないこと。なお、授業内にできなかった課題は、空き時間を使い次の授業までに済ませておくこと。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	Web ページ閲覧と著作権						
2	Power Point とプレゼンテーション						
3	ポスターとスライド作成						
4	文字修飾ワードアート・クリップアート						
5	スライドにおけるアニメーション、サウンド						
6	自己紹介のスライド作成						
7	配布資料の作成						
8	画像編集、フォトタッチ機能						
9	ホームページとHTML ファイルの基本						
10	HTML タグとエディタ						
11	WWW 画面の設計とHTML						
12	ホームページ作成						
13	偏差値の計算						
14	スマートフォン・ICタグなど最近の話題						
15	情報活用演習Ⅱのまとめ						
成績評価方法							
期末試験 40%、課題 60%で評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	Office2010	実教出版編集部	実教出版株式会社	978-4-407-32095-4			
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
空き時間にブラインドタッチの練習をすること。 授業時間内に終わらなかった場合は、次の授業までに終えておくこと。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
メールまたは電話: tanaka_hei@yahoo.co.jp または 080-5624-0712							



授業科目名	情報と倫理				科目コード	E1022	
担当者	小柳 和喜雄				履修区分	選択	
開講年次	1年	開講期	前期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 本講義では、情報ネットワークの役割と種類、インターネットを構成する要素と仕組み、WWW と電子メールの仕組みを適切に利用する観点、情報ネットワークのセキュリティと安全な利用の考え方などを学ぶ。加えて、情報を利用する立場および情報を発信する立場に立ったとき、どう行動するべきかを倫理学の観点から考え、情報社会の健全な発展に情報倫理が重要であることについて理解する。							
(到達目標) (1)情報ネットワークの役割・種類・要素・仕組みについて知っている。 (2)情報ネットワークのセキュリティ、安全な利用についての考え方を理解できている。 (3)情報の収集と発信等に関わって、情報倫理に基づき、適切な利用ができる。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
(1)講義の中で出される課題については必ず提出すること。 (2)配布資料について、予備の配布は行いませんので、紛失等した場合は、各自の責任において、他の学生からコピー等してもらってください。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	情報化社会とは何か(史的あゆみから)						
2	情報ネットワークの役割・種類						
3	情報ネットワークの要素・仕組み						
4	WWW と電子メールの仕組みと効果的な運用方法						
5	SNS の仕組みと効果的な運用方法						
6	情報ネットワークのセキュリティの仕組み						
7	情報セキュリティとネット被害						
8	情報ネットワークの安全利用						
9	情報倫理とは何か						
10	情報の受信・発信と個人の責任						
11	個人情報と知的財産(個人情報;知的財産)						
12	ネットにおけるコミュニケーションとマナー						
13	身近な生活における情報						
14	情報と教育						
15	まとめ						
成績評価方法							
最終まとめ作成 30%, 課題レポート 30%, 授業内ワークシート 40% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
参考書							
書名		著者		出版社		ISBNコード	
情報モラル&情報セキュリティ32の事例でわかりやすく解説!		富士通エフ・オー・エム		富士通エフ・オー・エム		9784865100747	
インターネット社会を生きるための情報倫理		情報教育学・情報倫理教育研究グループ		実教出版		9784407330311	
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
毎回の授業後、配布資料やノートを読みかえてください。また専門用語の意味等を確かに理解できるように復習してください							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
oyanagi@nara-edu.ac.jp へ電子メールで							

授業科目名	統計解析入門				科目コード	E1023	
担当者	戸谷 敦子				履修区分	選択	
開講年次	3年	開講期	後期	授業回数	15回	単位数	2
授業の概要・到達目標							
(概要) 統計学の知識や手法を身につけることは、社会調査など各種の分析結果を読み解き、また自らの研究テーマを科学的に検証する上で重要です。履修者は数理統計学の概念を形成すべく、記述統計、確率・確率分布、統計的推測、統計調査など統計解析に必要な知識を学びます。							
(到達目標) 1. 記述統計(度数分布、散布度、平均・分散、相関係数など)を習得する。 2. 確率分布( $\chi^2$ 分布、 $t$ 分布、 $F$ 分布など)を習得する。 3. 様々な統計手法を理解する。							
履修における注意事項(受講ルールなど)							
1. 統計解析を理解するには数学的な知識が必要です。履修者は高校数学(特に $\Sigma$ 、積分、指数関数、対数関数:logなど)を復習してから履修に望んで下さい。 2. 知識の定着を図るため、期末テスト以外に授業内で小テストを行います。しっかり勉強して望んで下さい。 3. 講義最終日は学生によるプレゼンテーションを行います。興味のあるテーマを決め、文献調査、データ収集、仮説の設定、仮説の検定を行い、その結果を発表してもらいます。							
授業スケジュール ※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。							
回数	講義内容						
1	統計学とは何か						
2	1変数データの整理①						
3	1変数データの整理②						
4	2変数データと多変数データ①						
5	2変数データと多変数データ①						
6	確率分布						
7	推測統計学						
8	グループ間の平均の差の検定①:T検定						
9	グループ間の平均の差の検定②:一元配置及び二元配置の分散分析						
10	単回帰分析						
11	重回帰分析						
12	主成分分析、因子分析						
13	判別分析など						
14	共分散構造分析						
15	講義のまとめ:プレゼンテーション						
成績評価方法							
期末テスト60%、授業内小テスト20%、プレゼンテーション20% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。							
教科書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
講義内でプリントを配布します。							
参考書							
	書名	著者	出版社	ISBNコード			
	「人文・社会科学の統計学」	東京大学教養学部統計学教室編	東京大学出版会				
教員からのメッセージ(予習・復習の方法に関するアドバイスなど)							
日頃から、ニュース、新聞記事などメディアを通して身の周りにある各種の統計情報に注意を払い、データを読み取る訓練をして下さい。							
教員との連絡方法 ※質問・相談など時間を要する場合は、教員に事前に連絡・確認を必ず取ってください。							
授業後に質問等受け付けます。							